

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	授乳中の乳腺炎と乳房膿瘍の現状と関連因子についての研究
研究責任者	本郷 愛実
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	乳腺炎は海外の報告では、産後3-20%の女性が経験することが知られており、そのうち3%の女性が乳房膿瘍を経験しているとの報告があります。乳腺炎の発症リスク因子については報告がありますが、乳房膿瘍の発症リスク因子については報告が限られています。この研究は、当院での乳腺炎と乳房膿瘍の現状を把握し、リスクと予防に関連する因子を明らかにすることを目的としています。この研究により、今後、より適切な授乳支援へ繋げていきたいと考えています。
研究方法	【研究の方法】 2018年1月から2021年9月までに当院で出産された方で、当院で乳腺炎または乳房膿瘍の治療を受けた方を対象としています。これまでの診療録から、妊娠・出産・授乳についての情報を、集めて行う研究です。これらの因子と、乳腺炎・乳房膿瘍発症との関連を後方視的に調べさせていただきます。また、発症頻度と、治療内容による経過についても、明らかにしていきたいと考えています。 【個人情報の保護】 個人情報は、研究目的以外に決して使用しません。また、個人情報が他に漏洩することのないよう慎重に取り扱います。情報を解析する前には、氏名などの個人情報を削り、どなたのものかわからないようにします。 【研究結果の公表】 研究の成果は、学会や論文で公表したいと考えています。集団の傾向を表す統計解析という形でまとめるため、個人が特定されることはありません。 この研究対象者に該当し、参加を希望されない方は、下記問い合わせ先までご連絡をください。研究に参加されない場合でも不利益を被ることは一切ありません。研究の参加によって、ご自身の直接的な利益ではありませんが、今後の授乳支援の発展につながることを期待されます。したがって、将来ご自身やご家族・ご友人が出産した場合に利益をもたらす可能性があると考えられます。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 本郷 愛実 TEL： 03-3400-1311 FAX： 03-3409-1604